

八代市立博物館未来の森ミュージアム

友の会だより



2025
Vol.4

春

- p.1 春を感じる館藏品紹介 《花鳥図屏風》
- p.2-3 収蔵庫整理は新たな発見に満ちている Part2 / 令和7年度各種講座のお知らせ
- p.4 令和7年度友の会総会ならびに特別講演会のご案内 / 改修工事が着々と進んでいます！

春

を感じる
館藏品紹介

かちょうずびょうぶ

《花鳥図屏風》

近藤樵仙(1865~1951) 大正2年(1913)

カラーは
こちらから



日本の国鳥でもあるキジは、春との結びつきが強い鳥です。これは、キジが春に繁殖期を迎える鳥だからでしょう。キジの雄は春になると、「ケンケン」と大きな声で鳴き、翼を強く羽ばたいて「ドドド」という音を出す「母衣打ち(ほろうち)」という動作を行うようになります。この鳴声と羽音で「ここは自分の縄張りだぞ！」とライバルの雄にアピールし、同時に雌への求愛メッセージを送るのです。こうした行動から「春の野に あさる^{きじ}雉の妻恋に 己があたりを人に知れつつ(春の野で餌をあさるキジは、妻恋しく鳴いては、自分の居場所を人に知らせてしまっている)」(大伴家持)という歌も詠まれています。

本図は、枝を垂らした山桜とつがいのキジを描いた屏風。雄のキジは、後ろで地面をついばむ雌を守るかのように、まっすぐ遠くを見つめています。向かって左側に取られた余白が、眼前に広がる春の野を想像させます。

作者の近藤樵仙^{こんどうしゅうせん}は、慶応元年(1865)現在の熊本市に生まれ、細川藩最後の御用絵師・杉谷雪樵^{すぎたにせつしゅう}に学んだ日本画家。明治20年(1887)、22歳の時に雪樵とともに上京、日本美術協会、日本画会を中心に活躍し、中央画壇での地位を確立しました。大正3年(1914)の文展落選を境に画壇の表舞台から身を引きますが、晩年までリアリズムを追求した花鳥画を描き続けました。昭和26年(1951)没、享年86歳。



収蔵庫整理は

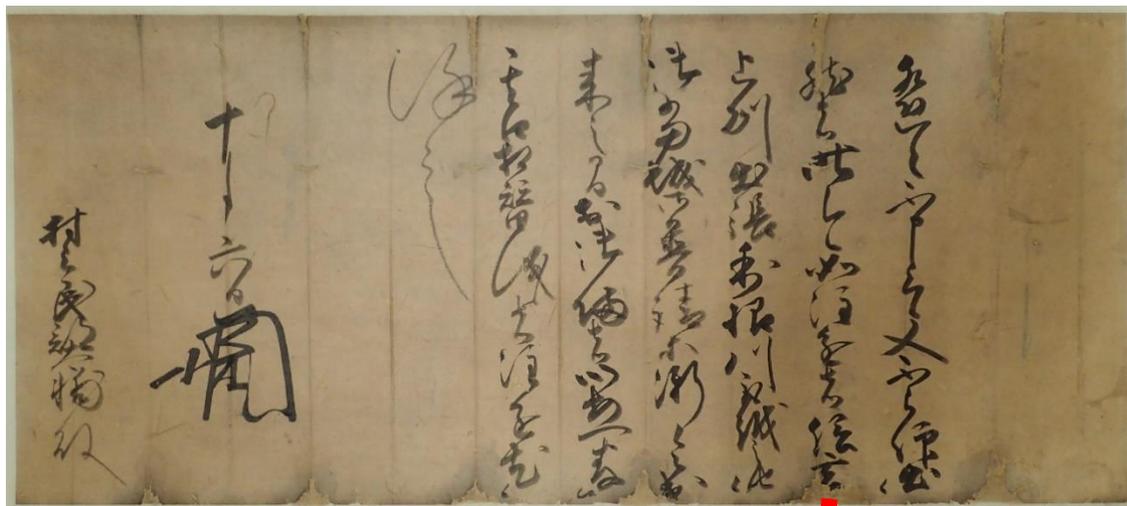
新たな発見に満ちている Part2

前回に引き続き、収蔵庫で再発見した古文書を紹介させていただきます。ある晴れた日、収蔵庫の古文書を整理していたところ、書中に「信玄」と記された書状を発見しました。読んでみると、武田信玄の動向を伝えるものでした。発信者の足利義氏は、下総国古河(現在の茨城県古河市)を本拠とする古河公方で、関東の支配権を有していました。宛名の村上民部太輔(綱清)は、上総国米本(現在の千葉県八千代市)の城主です。書中には、「信玄が上野国(現在の群馬県)に出張し、利根川を越えたい。当城(古河城)は普請ができあがったところなので、防備は大丈夫だと思う。そちらで変わったことがあれば報告しなさい」と記されています。

この書状は永禄 12 年(1569)に書かれたと考えられます。この年武田信玄は、上野国(現在の群馬県)から武蔵国(現在の東京都・埼玉県)を席卷したのち、北条氏の本拠小田原城を攻めています。足利義氏は北条氏の力で古河公方になった人物なので、武田信玄の動きは脅威だったに違いありません。この書状からは、関東に勢力を拡大しようとする武田騎馬隊の足音が聞こえてきます。

この書状は、平成 10 年に八代在住の個人の方から寄託されたものです。私の不勉強で、一度も展示されないまま収蔵庫で眠り続けていました。再開館したあかつきには、前回紹介した石田三成書状とあわせて、展示したいと考えています。(林)

足利義氏書状 永禄 12 年(1569)カ



実物を見るのが
たのしみ!



信玄

令和7年度 各種講座のお知らせ



◆学芸員のこだわり八代学@図書館 (八代市立博物館・八代市立図書館共催)

月日	回数	タイトル	講師 (博物館学芸員)	申込開始日時
5/17(土)	第1回	八代城主松井家と熊本の能	山崎 撰	受付中(残りわずか)
6/21(土)	第2回	秀吉が八代にやって来た	林 千寿	5/1(木)9:30~
7/19(土)	第3回	松井家の茶道具(仮)	宮原 江梨	6/1(日)9:30~
9/20(土)	第4回	『釈迦院縁起』を読み解く(仮)	石原 浩	8/1(金)9:30~
11/15(土)	第5回	八代の民俗(仮)	木村 ひなの	10/1(水)9:30~

【時間】 午前10時~11時30分 【場所】 八代市立図書館本館 2階 大集会室

【定員】 40人 ※事前申込が必要(申込開始日時以降にお申込みください) ※聴講無料

【申込方法】 市立図書館窓口、電話(市立図書館本館 ☎0965-32-3385)、
図書館ホームページの申込フォームからお申込みください。

◆やつしろ文化財講座 (八代市立博物館・お祭りでんでん館共催)

月日	回数	タイトル	講師(各館学芸員)
4/27(日)	第1回	はじめての妙見祭(入門編)	早瀬 輝美(でんでん館)
6/15(日)	第2回	仏像調査から見てきた坂本の歴史と文化~中津道阿弥陀堂の阿弥陀三尊像を中心に~	石原 浩(博物館)
8/17(日)	第3回	八代の工芸品(仮)	宮原 江梨(博物館)
10/25(土)	第4回	坂本の民俗芸能とくらし(仮)	北原 美希(でんでん館) 木村ひなの(博物館)
12/14(日)	第5回	資料が語る室町時代から江戸時代にかけての港町八代の繁栄(仮)	林 千寿(博物館)
3/15(日)	第6回	妙見祭と馬~神馬・飾馬・流鎧馬~	早瀬 輝美(でんでん館)

【時間】 午前10時~11時 ※10/25(土)のみ午前10時~11時30分

【場所】 お祭りでんでん館会議室 【定員】 40人 ※事前申込不要 ※聴講無料

※スケジュールは変更されることもあります。詳しくはそれぞれの月の「広報やつしろ」、
または各館のホームページをご確認ください。

令和7年度「友の会総会」ならびに「特別講演会」のご案内

令和7年度総会を下記日程で開催いたします。会員の皆様お一人お一人のご意見を伺いたく、皆様方の参加をお待ち申し上げます。総会終了後には特別講演会を開催します。今回は、八代市立博物館学芸員の石原浩氏を講師に、坂本町の「百済来地蔵堂」に残された江戸時代の参詣の記録から、当時の寺社参詣と旅文化についてお話してもらいます。

令和7年度八代市立博物館友の会総会・特別講演会

《開催日》 令和7年5月25日(日)午後2時～

【友の会総会】 *参加自由

- 時間/午後2時～2時45分 ●場所/桜十字ホール八代 3階 大会議室 A
- 内容/令和6年度事業・収支報告、令和7年度事業案・予算案審議 ほか

【特別講演会】 *参加自由

- 時間/午後3時～4時30分 ●場所/桜十字ホール八代 3階 大会議室 A
- 演題/「百済来地蔵堂」参詣と旅文化
- 講師/ 石原 浩 氏(八代市立博物館学芸員)
- 定員/ 50名 ※先着順、お申込み不要ですので当日会場へお越しください。
- 問合せ/八代市立博物館内 友の会事務局 ☎34-5555



休館中の博物館

改修工事が着々と進んでいます！

前号で工事が始まりましてとお伝えしたところですが、工事は順調に進み、一部先行した部屋は作業が(ほぼ)完了しました。今号ではその様子と、あわせて博物館の工事特有の事情をご紹介します。

【枯らし期間】

博物館や美術館などでは、工事が終わったからといって、すぐにその部屋が使える訳ではありません。工事で使った塗料や接着剤などから化学物質が放出されており、人には問題ない濃度でも、博物館資料にとっては劣化の原因となります。化学物質の放出は時間が経つと収まるため、博物館資料にも問題ない濃度に下がるまで、換気をしながら待ちます。このことを“枯らし”と言います。

今回の工事では、枯らしの期間を3か月間見込んでいます。



2階 講義室



1階 第2常設展示室

